

ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、数ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介します。

滋賀県指定史跡「横山神社古墳」

所有者：横山神社（高月町横山）
指定日：昭和 57 年 3 月 31 日指定

横山神社古墳は、物部古墳群に属する古墳です。物部古墳群は、父塚古墳、瓢塚古墳、兵主神社古墳、物部大將軍塚古墳、生塚古墳などの前方後円墳、前方後方墳、円墳からなる地域有力者を葬った墓と考えられます。

横山神社古墳は、同神社境内にあり、全長約35m、前方部約15m、後円部直径約20mの前方後円墳です。現在、古墳の前方部と、くびれ部後円部と前方部が接する所（頂部）にかけて稲荷神社が建てられ、後円部は野神塚となっています。前方部墳丘の南側は、



▲横山神社古墳測量図

横山神社参道の設置で削平されています。後円部からは、大型の石材が露出しており、主体部（土中の埋葬室）は、横穴式石室（一方の壁面に外部に通じる出入口があるもの）ではないかと考えられ、古墳時代後期の6世紀中ごろに築造されたとみられます。古墳の範囲確認調査では、後円部後方からくびれ部北側にかけて、幅約5〜6m、深さ約0.5〜1mの周濠（しゅうごう）古墳の周りに巡らされた濠を確認しています。

後円部墳丘裾（墳丘の下部）付近からは、須恵器（大陸系陶質土器）の坏類・甕類が出土し、家形埴輪と考えられる埴輪の破片も採集されました。主体部の調査を含め、全面的な発掘調査は実施されていませんが、古墳の周辺には、弥生時代から古墳時代に栄えた高月南遺跡や物部遺跡などの大集落跡があり、これらとの関係や、伊香郡を支配した豪族の伊香氏との関係なども検証が必要です。高月地域には、未調査の古墳もあり、古代史への興味はつきません。



▲横山神社古墳

問 高月観音の里歴史民俗資料館

（☎85・2273）

手話奉仕員養成講座「入門課程」を開催します

☎しょうがい福祉課 ☎65・6518
✉shougafukushi@city.nagahama.lg.jp



【受講料】3,300円（テキスト代）

【定員】30人

※定員を超えた場合抽選

【申込み】

5月20日（木）までに、申込書を担当課までFAXまたはメールでお申し込みください。

※申込書は担当課にあります。また、市ホームページからダウンロードすることもできます。

※全20回のうち、80%（16回）以上出席した人には、認定証書を交付します。

【対象】

市役所本庁舎1階 多目的ルーム

第19回せりん館「コンサート」を開催します

☎浅井歴史民俗資料館 ☎74・0101



【とき】

5月30日（日）13時30分

【ところ】

浅井歴史民俗資料館（大依町）

【内容】

彦根市を拠点に音楽活動を行っているシンガーソングライターの越中愛さんによるコンサートです。

演奏曲：ご当地キャラ博in彦根テーマソング『キミノススムマチ』など

【定員】20人

【入場料】大人 800円

小中学生 400円

【申込み】

直接または電話でお申し込みください。

ながはまの自然 不思議発見！

エピソード 10
初夏の雪「柳絮」

市内の自然の不思議や、そこに住む様々な生き物の面白い生態などを紹介します。

新緑がまぶしい初夏、風のない穏やかな晴天時に、びわ湖岸で白い綿毛のようなものがふわふわと舞っていることがあります。これは「柳絮」と呼ばれ、俳句の季語や初夏の自然の風景として古くから親しまれています。

柳絮の正体は、白い綿毛に包まれたヤナギの種で、風に乗って遠くに運ばれるようにできており、初夏に枝から離れて少しずつ飛散します。



▲風に舞う柳絮

無風状態や気温の上昇といったいくつかの気象条件がそろつと、周りの木々から一斉に飛び、まるで雪が舞うように見えます。

◆柳絮を見てみよう！



綿毛の拡大図

綿毛の中にはたくさんの小さな種が入っています。



▲ヤナギに実る柳絮

問 湖北野鳥センター

（☎79・1289）

東京2020オリンピック聖火リレーの開催について

☎スポーツ振興課 ☎65・8787



通行止め規制のお知らせ

【とき】5月28日（金）

18時30分〜20時

【区間】

湖岸相撲町交差点（祇園町）〜下坂浜町交差点（下坂浜町）

【内容】

全線通行止め規制を行います。8号線方面への迂回をお願いします。

※開催内容の変更等により、規制時間の変更や中止の可能性があります。詳しくはホームページまたは担当課までお問い合わせください。



▲通行規制区間